

整形外科 専門研修プログラム

◆ プログラムについて

基幹施設：名古屋大学医学部附属病院

(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院は連携施設として研修を実施します。)

※プログラム内容の詳細は、当院ホームページよりご覧下さい。

◆ 専攻医の処遇

・身分：専攻医（常勤嘱託）

・給与：3年次 基本給 290,300円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

4年次 基本給 305,800円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

5年次 基本給 320,100円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

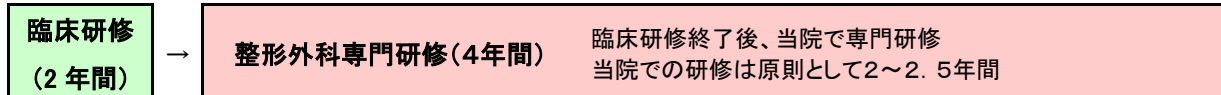
・他施設で研修する場合の雇用条件は、それぞれの研修施設の給与、社会保障、労働条件による。退職金等は、退職時の施設基準に従う

◆ 当院における研修環境

当院自体は、名古屋市西部に位置して、整形外科としては、救急外傷・脊椎外科・関節外科・手外科・スポーツ関節外科など治療のセンター的役割を担っています。専門分野別に脊椎外科・関節外科・手の外科・小児整形外科・腫瘍外科・外傷に大別されますが、当院では腫瘍外科（悪性腫瘍の治療）をのぞいて、全分野の研修が可能であることが特徴です。

年間手術件数は約1600件以上であり、研修医は、主治医として、骨折を含めた外傷の初期治療にあたることにより整形外科の基本的な手術手技を習得します。一方、脊椎・関節・上肢機能再建の特殊分野においては、各分野の専門医の指導のもと、ハイレベルの治療に助手として携わり、かつ診療技術を習得することが可能です。

整形外科専攻医の研修コース例



専門研修1年目	専門研修2年目	専門研修3年目	専門研修4年目
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	半年間 名古屋大学	地域型病院

★原則として、卒後5年目で全員が名古屋大学に戻り、一般の市中病院では研修が困難な腫瘍や小児整形などの領域を研修します。また、研究も行ない医学論文を一編書き上げます。

★ただし、名古屋大学整形外科の研修プログラムは柔軟で、希望に応じて大学に戻るのを1～2年遅らせて、当院でそのまま継続勤務することもできます。



お問い合わせ先

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院 教育研修管理課
TEL：052-481-5111
Email：kensyu-jimukyoku